

女性の本と
女性の為の
情報をお知
らせする
ウイメンズ
ブック
友の会会報

ウイメンズ ブックス 第5号

1982年
12月20日発行
(年会費 1,500円)

Women's Books

ウイメンズ ブックストア
発行所 有限会社 松 香 堂 書 店

602 京都市上京区下立売通西洞院西入る
電話 075-441-6905
振替貯金口座 京都8-7950

ウイメンズ ブック 目録 (5)

このリストの書籍を、御希望の方は、同封の振替用紙の通信欄でお申込み下さい。書籍代は送料共でお振込み下さいますようお願い致します。
ご注文の本の定価の合計額に、右の表の送料を合せてお送り下さい。なお、お電話でのご注文も受け付けています。

1,000円以下の場合	300円
1,001円～ 3,000円の場合	400円
3,001円～ 5,000円の場合	500円
5,001円～10,000円の場合	600円
10,001円以上の場合	700円

資 料 (7300～7599)

- 7300 「女大学集一東洋文庫 302」 石川松太郎編
平凡社 1,700円
- 7301 「近代婦人問題名著選集全10巻」(復刻版)
中嶋邦監修 日本図書センター 揃価 48,000円
- 1 日本将来の婦女 中山整爾 初版明治21年3月
改造社会真放婦 小室重弘 初版明治21年9月
 - 2 社会主義と婦人 山口孤剣 初版明治38年7月
婦人問題 堺 利彦 初版明治40年8月
 - 3 婦人の理想 安部磯雄 初版明治43年9月
 - 4 婦人問題 河田嗣郎 初版明治43年9月
 - 5 現代の婦人問題 本間久雄 初版大正8年5月
 - 6 婦人問題16講 奥むめお 初版大正14年5月
 - 7 婦人問題研究 永井 亨 初版大正14年8月
 - 8 現代婦人の思想とその生活
山田わか 初版昭和3年7月
 - 9 婦人問題の知識 金子しげり 初版昭和9年5月
 - 10 婦人と児童の問題 岩崎盈子 初版昭和10年4月
- 7302 「近代婦人問題名著選集続編 全10巻」(復刻版)
中嶋邦監修 日本図書センター 揃価 48,000円
- 1 婦人職業論 伊賀 歌吉 初版明治40年
 - 2 婦人と犯罪 寺田 精一 初版大正5年
 - 3 婦人農業問題 福田 昌植 初版大正6年
 - 4 女教員の真相及其本領
後藤 静香 初版大正6年
 - 5 売られゆく女 上村 行彰 初版大正7年

- 6 新時代の処女会及び其の施設経営
片岡 重助 初版大正12年
 - 7 婦人自立の道 東京市社会局 初版大正14年
 - 8 婦人の観た東京市政
(財)東京市政調査会 初版昭和2年
 - 9 女給と売笑婦 草間八十雄 初版昭和5年
 - 10 職業婦人を志す人のために
河崎 なつ 初版昭和7年
- 7303 「江戸時代女流文学全集 全4巻」 古谷知新編
日本図書センター 揃価 36,000円
- 1 物語、随筆、日記、紀行、歌集、句集
 - 2 荒木田麗女の物語、説話集
 - 3 紀行、日記、物語、消息、小品
 - 4 歌集、句集、狂歌集
- 7304 「女人芸術全5巻一総48冊 附録、女人大衆36冊」
(昭和3年7月1日～昭和7年6月1日 復刻版)
不二出版 揃価 98,000円
すべて女性の手になる女性の雑誌として発刊された「女人芸術」は、多くの女流作家を世に送り出すと共に婦人運動にも重要な役割を果たした。
- 7305 「青鞥 全6巻一総52冊(明治44年～大正5年復刻版)
不二出版 揃価 120,000円
元始、女性は太陽であった。真正の人であった。今女性は月である。偕てここに「青鞥」は初声をあげた。の名文で知られる「青鞥」は、わが国において女性が、初めて人間としてめざめ、語り、その影響は当時ばかりでなく後世の女性たちにも強く与えた。

- 7306 「廓清 全35巻一総33冊 附録索引・婦人矯風会年表」(明治42年～昭和20年復刻版)
不二出版 揃価 300,000円
悲惨な娼妓の生涯, 検梅制度, 業者と警察の結託等々 虐げられた女性の解放を訴え続けた雑誌「廓清」は遊廓の歴史を今日に伝える。
- 7307 「家庭雑誌 全6巻」(明治36年4月～明治42年7月復刻版) 堺利彦編輯
不二出版 揃価 48,000円
堺利彦が, 自ら創業した由文社から家庭向けに発行した雑誌で, 欧米の読物を紹介するなど, 啓蒙的役割を果し, のちの社会主義婦人論や婦人運動に対して先駆的な意義をもっている。
- 7308 「古代医術と分娩考」ハッガード 巴陵宣祐訳
エンタプライズ出版部 13,000円
産科婦人科学の生成と発展に視座をすえ, 豊富な図版と写真を駆使して解説した医学の文明史。出産習俗のあり方は, 女性史としても興味深い。
- 7309 「近世女子教育思想 全3巻一日本教育思想大系第四期」我が国の教育思想の源流探求のために道徳倫理哲学の原典を集大成
日本図書センター 36,000円
第1巻 「武家時代女学叢書より」
第2巻 「伝記, 比売鑑本朝女鑑 他」
第3巻 「日本教育文庫・婦人文庫より」
- 7310 「大日本女性人名辞書一日本唯一, 最大の女性人名事典復刊」高群逸枝著
新人物往来社 7,500円
- 7311 「日本婦人問題資料集成 全10巻一近代の黎明期から現代までの婦人問題資料の初の集大成」
ドメス出版(分売可)
- 1 人権一婦人の人権に関係あるあらゆる現行の国際条約, 宣言, 勧告, 国内法規, 行政等
編集・解説 市川房枝 12,000円
 - 2 政治一婦人参政権問題 明治以降戦後に至る婦人の政治的活動
編集・解説 市川房枝 12,000円
 - 3 労働一婦人職業の動向, 婦人労働運動, 労働者保護法制定過程と施行等,
編集・解説 赤松良子 11,000円
 - 4 教育一近代女子教育の歴史, 戦後民主主義と女子教育等 編集・解説 三井為友 12,000円
 - 5 家族制度一明治民法制定前の家族習慣・布告等 明治民法の制定過程, 現行民法, 家族制度復活論争等
編集・解説 湯沢雅彦 9,000円
 - 6 保健・福祉一墮胎, 間引禁止, 母子保護法, 母子の権利保障をめざしての保育運動等
編集・解説 一番ヶ瀬康子 12,000円
 - 7 生活一明治・大正の生活, 昭和恐慌下, 戦時・戦後の生活と消費, 意識の変化等
編集・解説 丸岡季子 12,000円
 - 8 思潮(上)一明治期婦人問題論争, 人権, 階級論争, 大正期における女権論争, 家制度と恋愛論争, 母性保護論争, 婦人解放と路線論争等 編集・解説 丸岡季子 8,500円
- 9 思潮(下)一敗戦後
編集, 解説 丸岡季子 12,000円
- 10 近代日本婦人問題年表一1868年から1975年までの日本の婦人にかかわる総合的年表, 本資料集成に採録された事項, 人名の索引
編集・丸岡季子・山口美代子
- 7312 「児童福祉法成立資料集成 全2巻」
編集 児童福祉法研究会 ドメス出版
上巻 戦前・戦後児童保護法令通知, 同関連資料, 法立案成立過程資料, 国会提案関係政府資料等
21,000円
下巻 国会審議関係資料, 法改正経過と改正法文, 現行法, 児童福祉法成立関連文献等 21,000円
- 7313 「以良都女 全5巻」(明20年7月～明治24年6月復刻版) 編輯 山田美妙
不二出版 揃価 60,000円
婦人の啓蒙と言文一致文体の普及を目指した明治期文芸誌, 小説・翻訳新体詩・評論等美妙の才筆と共に投書雑誌としても先駆的であった。
- 7314 「婦女新聞」(明治33年～昭和17年復刻版)
村上信彦解題 不二出版
刊行予定 第一期 1982年12月発売 予価 70,000円
第二期 1983年2月〃 予価 80,000円
(以下続刊 1985年までに全10巻刊行予定)
福島四郎が, 明治33年創刊以来43年間にも亘って女性の人権擁護, 女子教育・女性と職業等, 伝統的習慣からの女性の解放を唱えつづけ, その果した役割は高く評価されている。女性史研究にかかせない資料の復刻が実現。
- 7315 「世界婦人一全38号」(明治40～42年復刻版)
福田英子为主宰した「世界婦人」は婦人の世界的解放を希い, 婦人自身の社会運動の必要性を鼓吹している。
龍溪書舎 9,500円
- 7316 「高群逸枝全集 全10巻」
理論社 揃価 30,000円
- 1 母系制の研究 3,200円
 - 2 招婿婚の研究 I 3,200円
 - 3 招婿婚の研究 II 3,200円
 - 4 女性の歴史 I 2,800円
 - 5 女性の歴史 II 3,000円
 - 6 日本婚姻史・恋愛論 3,000円
 - 7 評論集・恋愛創生 2,800円
 - 8 全詩集 日月の上に 2,800円
 - 9 小説・随筆・日記 3,200円
 - 10 自伝 火の国の女の日記 2,800円
- 7317 「山川菊栄集 全10巻 別巻1」
田中寿美子・山川振作編 岩波書店
- 1 女の立場から(1916～1919) 廢娼論争と母性保護論争で論壇に登場。 2,700円
 - 2 女性の反逆(1919～1921) 婦人と職業問題を論ずる。 2,900円
 - 3 牙をぬかれた狼(1921～1923) 女性のメーデー参加を訴える。 2,700円
 - 4 無産階級の婦人運動(1924～1926) 日本労働組合評議会婦人部テーゼ。 2,700円

- 5 ドグマから出た幽霊 (1927~1930) 高群逸枝と交した恋愛論争, 婦人運動論争。 2,800円
- 6 女は働いている (1931~1945) 女性と働く人々の人権を守れと主張。 2,800円
- 7 明日の女性のために (1945~1980) 戦後の労働省初代婦人少年局長としての業績。 2,800円
- 8 このひとびと 師・先輩・友・同志・家族を語ったアルバム。 2,9000円
- 9 おんな二代の記 母森田千世と子菊栄の自分史, 家族史であると共に時代と社会を書いた貴重な記録。 2,9000円
- 10 武家の女性・わが住む村 昭和18年刊行の歴史記述と民俗学著述をもって反戦の姿勢を示す。 2,900円
- 別巻 覚書幕末の水戸藩 祖父の遺した文書と故老からの聞き書きをもとに幕末の水戸学派, 天狗党らの人々の姿と女性の忍苦を描いて大仏次郎賞を受賞。 2,700円
- 7318 「婦人民主新聞縮刷版 全6巻」
婦人民主クラブ編 (1982)
各巻 7,000円 揃価 40,000円
(1946年創刊号~1980年最終号1724号を収録)
創刊号からすべて女の手で創られた新聞で, 女の戦後史, 女性運動の学習資料として貴重な存在である。婦人民主クラブ創立35周年記念に刊行された。
- 7319 「女性学——雑誌信州白樺53, 54, 55合併号」
信州白樺 (1982.12刊) 2,000円
女性問題を既成の学問分野に囚れず, 各自の関心分野に添って自主的に研究されたものを掲載, 女性研究の参考にまた指針に。
- 7320 「日本女性研究基礎文献目録——明治から最新の文献まで, わが国の研究成果を集大成」
内野久美子著 学陽書房 1,500円
- 7321 「女性解放論集——付・女性史の文献」
白井厚・堯子 慶応通信 2,200円
- 7322 「女で始まるオンナの本 全437冊——新しいタイプの図書カタログ」 辰巳出版 (1981) 980円
- 7323 「婦人白書 1980——家庭基盤を考える, 婦人の現状と要求」 日本婦人団体連合会編
草土文化 1,500円
- 7324 「婦人白書 1981——差別撤廃条約と後半行動プログラム」 日本婦人団体連合会編
草土文化 1,500円
- 7325 「婦人白書 1982——婦人と行財政改革」 日本婦人団体連合会編 草土文化 1,600円

現在ウィメンズ ブックスストアで扱っているミニコミ

- 5001 「女性学年報 第2号」 日本女性学研究会
1981年刊 800円
- 5184 「女性学年報 第3号」 日本女性学研究会
1982年11月刊 800円
- 5002 「フェミニスト 創刊号」 フェミニスト 390円
- 5003 「フェミニスト 第2号」 フェミニスト 390円
- 5004 「フェミニスト 第3号」 フェミニスト 390円
- 5006 「フェミニスト 第5号」 フェミニスト 390円
- 5007 「フェミニスト 第6号」 フェミニスト 390円
- 5008 「フェミニスト 第7号」 フェミニスト 550円
- 5009 「フェミニスト 第8号」 フェミニスト 550円
- 5010 「フェミニスト 第11, 12号合併号」
フェミニスト 550円
- 5011 「フェミニスト 第13号」 フェミニスト 550円
- 5012 「フェミニスト 第14号」 フェミニスト 550円
- 5013 「フェミニスト 第15, 16 合併号」
フェミニスト 550円
- 5131 「フェミニスト 第17号」 フェミニスト 550円
- 5014 「フェミニスト インターナショナル No.2 ——アジアの女たち '80 (英文)」
フェミニスト 1,200円
- 5015 「あごら 2号——特集 女性の進出のために」
BOC 出版 200円
- 5016 「あごら 3号——特集 主婦の解放をめくって」
BOC 出版 200円
- 5018 「あごら 6, 7号合併号——特集 運動をすすめよう」
BOC 出版 350円
- 5019 「あごら 8号——特集 子殺しを考える」
BOC 出版 380円
- 5021 「あごら 12号——特集 世界婦人会議」
BOC 出版 750円
- 5022 「あごら 13号——国際婦人年を考える」
BOC 出版 750円
- 5023 「あごら 14号——女の記録」 BOC 出版 750円
- 5024 「あごら 15号——特集 職場の中の女性差別」
BOC 出版 750円
- 5025 「あごら 17号——特集 女と生涯教育, 生涯学習」
BOC 出版 780円
- 5027 「あごら 19号——特集 女にとって子どもとは」
BOC 出版 800円
- 5028 「あごら 20号——特集 ひろがる女性解放と男女雇用平等法」
BOC 出版 1,300円
- 5029 「あごら 21号——特集 子と母の関係を問う」
BOC 出版 1,100円
- 5030 「あごら 22号——特集 男女平等と母性保障」
BOC 出版 1,200円
- 5031 「あごら 23号——特集 女たちは今変わる」
BOC 出版 1,500円

- 5032 「あごら 24号——女と戦争」 BOC 出版 1,500円
- 5033 「あごら 25号——女と情報」 BOC 出版 1,500円
- 5034 「アジアと女性解放 6号——アジアの闘う女性たち」 アジアの女たちの会 400円
- 5035 「アジアと女性解放 9号——第三世界の女と私たち」 アジアの女たちの会 400円
- 5036 「アジアと女性解放 10号——光州一周年によせて」 アジアの女たちの会 400円
- 5037 「アジアと女性解放 11号——暮らしの中のアジア」 アジアの女たちの会 400円
- 5136 「アジアと女性解放 12号——戦争とわたしたちとアジア」 アジアの女たちの会 400円
- 5100 「アジアと女性解放 英文版 2」 アジアの女たちの会 400円
- 5102 「アジアと女性解放 英文版 3——Prostitution tourism」 アジアの女たちの会 400円
- 5101 「アジアと女性解放 英文版 4——Asian Women in Struggle」 アジアの女たちの会 400円
- 5038 「働く婦人 No.1——国際婦人デーと現在の婦人労働運動」 働く婦人編集委員会 400円
- 5039 「働く婦人 No.2——婦人労働者の母性保護について」 働く婦人編集委員会 400円
- 5040 「働く婦人 No.3——関東大震災と入管体制」 働く婦人編集委員会 400円
- 5041 「働く婦人 No.4——ホーチミン市を訪ねて他」 働く婦人編集委員会 400円
- 5042 「働く婦人 No.5——新生ベトナム・国造りは教育から」 働く婦人編集委員会 400円
- 5043 「人と時と——朝日新聞ひととき欄で綴る25年」 ひととき会有志編 1,300円
- 5045 「北海道女性史研究 第16号——10周年記念特集号」 北海道女性史研究会 700円
- 5047 「ことば 2号——辞書にみる女性」 現代日本語研究会 500円
- 5048 「売る春・買う春——これでよいのか女性の人権」 売春問題ととりくむ会 300円
- 5049 「続・北海道の女たち——ウタリ編」 高橋三枝子 北海道女性史研究会 1,850円
- 5051 「おんなの叛逆 No.20——特集 女性の年齢なぜ隠す」 久野綾子編 200円
- 5052 「おんなの叛逆 No.21——特集 迷惑電話の実態調査」 久野綾子編 200円
- 5053 「おんなの叛逆 No.23——特集 小さくて痛い女の靴」 久野綾子編 200円
- 5054 「おんなの叛逆 No.24——特集 女による女の集会の意味」 久野綾子編 250円
- 5068 「おんなの叛逆 No.25——特集「性」これでいいのか」 久野綾子編 250円
- 5055 「女たちへ」パンフ1~8 京大女解放研究会 各 50円
- 5056 「写される側のいいぶん」 今西千賀子他(パンフ) あいだ書房 150円
- 5057 「子育てのいのちの学校——10年間の育児体験を通して探る女の生き方」 鈴木久子 ミニコミセンター 1,400円
- 5059 「ヨーロッパのわが家——主婦の見たヨーロッパ」 杉原登喜子 松香堂 480円
- 5065 「ひとつの抗議——ある大学人事の裁判記録」 阪大教養第1003号による公募人事を考える会 2,500円
- 5066 「近代熊本の女たち 上」 家族史研究会 熊本日日新聞 1,300円
- 5067 「近代熊本の女たち 下」 家族史研究会 熊本日日新聞 1,300円 (5066, 5067は本号のミニコミの女たち(3)を御参照下さい。)
- 5069 「女性解放へ——社会主義運動論」 山川菊枝 日本婦人会議 1,500円
- 5070 「男女平等」 日本婦人会議 1,200円
- 5071 「婦人と憲法」 日本婦人会議 350円
- 5072 「はたらく権利と母性の権利」 日本婦人会議 450円
- 5073 「合成洗剤の追放をめざして」 日本婦人会議 250円
- 5074 「婦人問題研究」京都府立婦人問題研究会 500円
- 5075 「沖縄女性史研究 2号——沖縄戦を生きぬいて」 沖縄県女性史研究会 400円
- 5076 「沖縄女性史研究 3号——私たちが見たイザイホウ」 沖縄県女性史研究会 400円
- 5077 「沖縄女性史研究 4号——復帰10年わたしたちは今」 沖縄県女性史研究会 500円
- 5081 「コスモスの甦る日まで——国道43号線の道路公害と聞いた女の生涯」 夏の書房 1,300円
- 5082 「女から女たちへ 26号~32号」 女から女たちへ編集部 セット価 1,000円
- 5083 「女から女たちへ 27号~33号」 女から女たちへ編集部 セット価 1,150円
- 5084 「女から女たちへ 34 ~38号」 女から女たちへ編集部 セット価 900円
- 5085 「女から女たちへ 27号, 28号, 32号, 34号, 35号」 各 150円
- 「女から女たちへ 29号, 33号, 36号, 37号, 38号, 39号, 40号, 41号」 各 200円
- 「女から女たちへ 30, 31号合併号」 300円
- 5086 「明日をひらく教室 No.1——自立との関係」 おんな解放連絡会京都 300円
- 5087 「明日をひらく教室 No.5——女と主婦的状況」 おんな解放連絡会京都 400円
- 5088 「男女共学をすすめるために」 国際婦人年をきっかけとして行動を起す女たちの会 200円
- 5089 「つばさをもがれた女の子——教室の中の性差別」 国際婦人年をきっかけとして行動を起す女たちの会 400円
- 5090 「女はこうしてつくられる——教科書の中の性差別」 国際婦人年をきっかけとして行動を起す女たちの会 300円
- 5091 「ミニパンフ ゆれ動く女性像」 国際婦人年北区の会 100円
- 5092 「ミニパンフ 働く婦人の結婚、妊娠、出産」 国際婦人年北区の会 100円
- 5093 「ミニパンフ 女性と福祉——1人でも生きられるか」 国際婦人年北区の会 100円

- 5094 「ミニパンフ 女性と法律」
国際婦人年北区の会 100円
- 5095 「ミニパンフ 女性と子ども——あえて母性を問う」
国際婦人年北区の会 100円
- 5062 「パートで働くために——損をしないための12章」
国際婦人年北区の会 200円
- 5061 「働きがいのある賃金を——女だから安いはずはない」
国際婦人年北区の会 200円
- 5103 「女大学現代考——女大学を考える」
志村緑他 600円
- 5104 「女解放革命のススメ——労基法改悪反対のために」
労基法改悪反対実行委 300円
- 5106 「地域一家族 第15号——特集 おんな自立考」
地域一家族編集委員会 (1982.5刊) 200円
- 5107 「坂道にて——今自立に向けて 保健婦6人の記録から」 内田真砂他 冬鶴房 (1982) 800円
- 5108 「とのおく 創刊号」
松山市読書会「とのおく」(1981) 450円
- 5109 「女性史研究と現代社会 創刊号——婦人論の新しい地平を確立するために」(1982.10)
東京女性史研究会 400円
- 5105 「We——新しい家庭科 7月号」(1982.6)
ウイ書房 500円
- 5110 「We——新しい家庭科 8月, 9月合併号——特集 反戦とは・平和とは」(1982.7) ウイ書房 500円
- 5111 「We——新しい家庭科 10月号——特集 人間の自立とは」(1982.9) ウイ書房 500円
- 5112 「We——新しい家庭科 11月号——特集 家事労働を問う」(1982.10) ウイ書房 500円
- 5113 「We——新しい家庭科 12月号——特集 家庭・家族」(1982.11) ウイ書房 500円
- 5114 「わいふ(ともに歩く女たちの雑誌) №177——特集 肉親の老いをみつめる」
グループわいふ 450円
- 5115 「わいふ(ともに歩く女たちの雑誌) №178——特集 女・からだの履歴書」
グループわいふ 450円
- 5116 「月刊ワイズ 11月号——特集 スポーツを呼吸しよう!!」
究出版社 300円
- 5117 「月刊ワイズ 12月号——特集 住まいリフレッシュ」
究出版社 300円
- 5118 「女 エロス №3——特集 エロス希求の労働」(1974.9) 社会評論社 850円
- 5119 「女 エロス №4——特集 職場へのリブの果たし状」(1975.3) 社会評論社 700円
- 5120 「女 エロス №5——特集 女のからだは宇宙をはぐくむ」(1976.3) 社会評論社 850円
- 5121 「女 エロス №7——特集 I 明日へ翔ぶ女たち II リブ報告・5年目のわたしたち III うたう女」(1976.9) 社会評論社 780円
- 5122 「女 エロス №8——特集 I つくられる女像 II 生きる女の知恵づくし」(1977.3) 社会評論社 780円
- 5123 「女 エロス №10——特集 幻視の政治をさぐる」
社会評論社 850円
- 5124 「女 エロス №11——特集 何からの解放か」
社会評論社 850円
- 5125 「女 エロス №12——特集 婚姻届の呪縛を解け」(1979.3) 社会評論社 850円
- 5126 「女 エロス №13——特集 家族解体にむけて」(1979.9) 社会評論社 850円
- 5127 「女 エロス №14——特集 家族考 自存のつながらへ」(1980.5) 社会評論社 980円
- 5128 「女 エロス №15——特集 仕事とくらし」(1980.10) 社会評論社 980円
- 5129 「女 エロス №16——特集 性を透視する」(1981.5) 社会評論社 980円
- 5130 「女 エロス №17 終刊号——特集 女解放なくして反戦なし」(1982.6) 社会評論社 980円
- 5140 「高群逸枝雑誌 10号 海賊版」(1971.1) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5141 「高群逸枝雑誌 11号 海賊版」(1971.4) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5142 「高群逸枝雑誌 12号 海賊版」(1971.7) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5143 「高群逸枝雑誌 13号 復刻版」(1971.10) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5144 「高群逸枝雑誌 15号 復刻版」(1972.4) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5145 「高群逸枝雑誌 16号 復刻版」(1972.7) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5146 「高群逸枝雑誌 17号 復刻版」(1972.10) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5147 「高群逸枝雑誌 18号 復刻版」(1973.1) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5148 「高群逸枝雑誌 19号 復刻版」(1973.4) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5149 「高群逸枝雑誌 20号 復刻版」(1973.7) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5150 「高群逸枝雑誌 21号 復刻版」(1973.9) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5151 「高群逸枝雑誌 22号 復刻版」(1974.1) 高群逸枝雑誌編集室 150円
- 5079 「婦人通信 270号——特集 マンションライフ・女たちの定年・男たちの自立」(1982.6) 日本婦人団体連合会 250円
- 5080 「婦人通信 271号——特集 私にとって父とは・雇用平等ライン中国の新婚姻法」(1982.7) 日本婦人団体連合会 250円
- 5152 「婦人通信 272号——特集 個人と集団・見た聞いた考えた各国の草の根運動」(1982.8) 日本婦人団体連合会 250円
- 5153 「婦人通信 273号——特集 嫁しゅうと全員集会・アメリカの女性と家族」(1982.9) 日本婦人団体連合会 250円
- 5154 「婦人通信 274号——特集 女のからだ生理をめぐって・革新ギリシャの社会と女性」(1982.10) 日本婦人団体連合会 250円
- 5155 「婦人通信 275号——特集 O.A革命と女性・ふえる都市犯罪」(1982.11) 日本婦人団体連合会 250円
- 5156 「婦人通信 276号——特集 男の生理と性・パレスチナ問題とは何か」(1982.12) 日本婦人団体連合会 250円

- 5157 「あい—女性が創る婦人問題情報誌 1982年7月号—特集 国連軍縮特別総会から帰って」
あさ企画 600円
- 5158 「あい 8月号—特集 育児休業制度の普及をめぐって」
あさ企画 600円
- 5159 「あい 9月号—特集 ホスピスを考える」
あさ企画 600円
- 5160 「あい 10月号—特集 私の選んだ道」
あさ企画 600円
- 5161 「性と平等 9・10合併号(エスペラント語の国際雑誌の日本語版)—男女平等とは何かを世界的規模で情報交換するための雑誌」
性と平等発行会 400円
- 5162 「それいゆ 創刊号—特集 迷い道・結婚・その模索」
女性問題懇話会 480円
- 5163 「男も女も育児時間をノ」
男も女も育児時間をノ連絡会 300円
- 5164 「愛の手の裸婦像—宝塚大橋モニュメント設置反対運動の記録 1978年4月～1980年5月」
宝塚大橋モニュメント「愛の手の裸婦像」設置に反対する市民の会 500円
- 5165 「まいっちゃんぐマチコ先生に抗議する会 報告書—アニメに表れた性差別」
まいっちゃんぐマチコ先生に抗議する会 380円
- 5166 「国際結婚を考える会・ニュース 1980年」
国際結婚を考える会 800円
- 5167 「国際結婚を考える会・ニュース 1981年」
国際結婚を考える会 800円
- 5168 「優性保護法改悪とたたかうために」
82' 優性保護法改悪阻止連絡会 400円
- 5169 「優性保護法改悪阻止のための基礎資料」
82' 優性保護法改悪阻止連絡会 300円
- 5170 「地域闘争 139号—特集 お産をわが手に母乳で育てよう」(1982.7) ロシナンテ社 500円
- 5171 「女性史研究 第4集—特集高群逸枝を偲ぶ」(1977.6) 家族史研究会 500円
- 5172 「女性史研究 第5集—特集古代の女たち」(1977.12) 家族史研究会 500円
- 5173 「女性史研究 第6集—特集「母権論」のために」(1978.6) 家族史研究会 500円
- 5174 「女性史研究 第7集—特集 高群逸枝写真集」(1978.2) 家族史研究会 800円
- 5175 「女性史研究 第8集—特集 高校日本史教科書の女たちⅠ」(1979.6) 家族史研究会 500円
- 5176 「女性史研究 第9集—特集 母権の発見」(1979.11) 家族史研究会 500円
- 5177 「女性史研究 第10集—特集 高校日本史教科書の女たちⅡ」(1980.6) 家族史研究会 500円
- 5178 「女性史研究 第11集—特集「熊本評論」の女たち」(1980.12) 家族史研究会 500円
- 5179 「女性史研究 第12集—特集 モルガン100年忌記念」(1981.6) 家族史研究会 500円
- 5180 「女性史研究 第13集—特集 世界の女たち」(1981.12) 家族史研究会 500円
- 5181 「女性史研究 第14集—特集 近代の女キリスト者」(1982.6) 家族史研究会 500円
- 5182 「女性史研究第15集—特集偉大な母」(1982.12) 家族史研究会 500円
- 5183 「あごろ26号—特集いま女がものをいうこと」(1982.7) BOC出版 1,500円
- ◎5171～5182は本号くミニコミの女たち 第3回)をご参照下さい。

《あなたの情報・私の情報》

「女も戦争を担った」に寄せて

(川名紀美著 冬樹社)

木下明美

この少しショッキングな題は戦争を知らない世代の著者(朝日新聞大阪本社学芸部記者)が、ちょっぴり傲慢かなと心を痛めながらつけたものであるという。しかし担ったと言われてもしかたがないほど、積極的に戦争にかかわった女たちが登場する。いまだに自衛隊員を兵隊さんと呼び慰問しつつける元国防婦人会幹部、「一度負けたからといって、もう軍隊はだめなんて極端すぎる。国の先々のことを考え、立派な日本人を養成しなければ」と、300人もの教え子を自衛隊員にして送り出した初老の高校教師。戦後37年たった今も彼女たちの意識は戦前とかわらない。

女たちの反戦・反核の草の根運動の高まりの中で、憲法改悪・突出軍事費・靖国参拝と押しすすめていく男性政治家と表裏一体となって、先の女たちも一方の時代の流れづくりに加担しているではないか。

生命を産み育てる女は平和を愛するノなんて誰がいったのだ? 母性は戦争の歯どめになんかなりはしない。たとえば、平時には「息子を戦争にとられるなんてまっぴら。絶対戦争反対だわ」といっているものが、一旦戦争賛美・聖戦化の宣伝がはじまり、平和があやしくなりはじめると、「息子よ、母のためにりっぱに戦ってきておくれ」と送り出しかねないのである。自己に目覚めない母性は危険だと思う。おしゃもじおばさんの運動、PTA活動などに、この種の危険性を感じる。いつなんどきお国のためにといひ出されるかわからない。かんぐりすぎなら幸いだが。

この本の著者を招いて、11月中旬に京都YMCAにて懇談会をもった。この本は我々にいろんな問題を投げかけてくれた。では、さて、今の私たちは何をしたらいいのか? というところに意見が集中した。社会を正面からみないで、意地悪く斜めにみること。時代に流されない自己を築いていくこと。いま問題になっている優性保護法改悪の動きに積極的に反対していけないと、また女たちが産まれ戦争を担わされる等、話し合いはつきなかつた。(京都市左京区浄土寺下南田町149)

連載

ミニコミの女たち

第3回

<女性史研究(熊本)>

緒方和子

自己紹介

高校家庭科の男女共学をとなえてきましたが、退職したいまは、会員の一人として『平安の女たち』をまとめるために苦労しています。また、女性史研究所を設けて「ニューフェミニスト」を発行しています。



わたしたち家族史研究会が『女性史研究』誌を、国際婦人年のはじまりを記念して第1集を出版してから、すでに第15集(年2回発行)になりました。初めは六名ほどから出発して、いまは25名の会員がお互いに助けあいながら、より新しい女のために、新しい人間関係をうみだす基礎のために、女性史をさぐりもとめてきました。

『女性史研究』誌は各集を特集として刊行してきました。第1集高群逸枝研究のために、第2集高群逸枝を撰取する、第3集バッハオーフェン『母権論・序説』、第4集高群逸枝を偲ぶ、第5集古代の女たち、第6集『母権論』をめぐる、第7集高群逸枝写真集、第8集高校日本史教科書の女たちⅠ、第9集母権の発見、第10集高校日本史教科書の女たちⅡ、第11集『熊本評論』の女たち、第12集モルガン100年忌記念、第13集世界の女たち、第14集近代の女キリスト者、第15集偉大な母、です。

このほかに、『近代熊本の女たち』上・下二巻を出版しました。これは熊本という封建性のつよい風土のなかで育ち、やがて自からの道をきりひらいていった近代熊本の女たちを、いまを生きるわたしたち女の目と心でとらえなおしたものです。

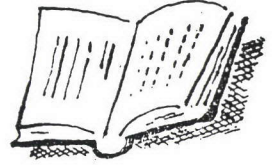
高群逸枝氏は熊本出身の女性史研究者ですが、彼女がとりあげた学説や史料をやはりもう一度見なおし、引用した文献の意味のちがいを検討しなければならなくなってきました。たとえば母系制はせまい意味のもので

のましくありません。彼女はバッハオーフェンの『母権論』をよんでいないようです。よく引用される文章ですが、「家族史の研究は、1861年、バッハオーフェンの『母権論』の刊行をもってはじまる」といわれます。父権とちがって、「母権によってすべての人はひとしく自由である」のであり、自由と平等が原始においては母による愛情のもとで行なわれたということ、バッハオーフェンはのべています。現代の父権的な人間関係が、ときの流れとともにすてられねばならず、未来に母権が復活されること、いいかえますと、長男と次男を区別せず、息子と娘を差別せず、わが子と隣りの子をおなじとする母、したがって父のありかたをのぞみつつ、このためにこそいままでの女のあゆみ、母や娘の苦しみをあきらかにしなければならぬとねがっています。

『女性史研究』誌第3集には、井上五郎氏によって、『母権論・序説』が訳出されました。第12集からは『母権論』本文の翻訳が連載されはじめております。本邦初訳です。ぜひともよんでいただきたい文献です。また布村一夫先生による『母権論解説』の邦訳(第6集・第9集)は高野氏がよめなかったものです。このような外国のすぐれた近代的古典の邦訳は、高群批判と、新しい女性史の基礎をあたえてくれますが、これらの邦訳をもって、わたしたちを援助してくださることに、『女性史研究』誌の大きい未来をみだしています。

(本号 p. 4, p. 6 をご参照下さい)

—書 評—



「大正女性史」上巻

村上信彦著

理論社

御存知、生活派もしくは庶民派女性史の大家村上サンが、大著「明治女性史」から13年ぶりにやっと出した大正時代の女性の歴史の第一部。村上女性史の良いところは、「青鞥」から新婦人協会、赤瀾会といったおきまりメニュー的、または表街道的女性解放運動史じゃなく、無名その他多勢組の女たちの日常的生き方を、たんねんに掘り起して再現してみせてくれる腕前にある。この本でもさすがに「青鞥」は出てくるけど、わりとさりと流しているし、「婦人公論」よりも「主婦の友」の重要性を指摘するあたり、村上サンの面目躍如という感じ。大正時代につきものの恋愛事件でも、みんな知ってる白蓮女史じゃなく、芳川鎌子を取り上げてみたり。中でも圧巻は、前半の当時の女学生や女子教育についての部分で、明治と大正の違いってどの辺にあるの？ という疑問をもつ人は、一つの答になるだろう。

たゞいつも思うことだけど、好きなものにはとことん肩入れし、嫌いなものにはとことん悪口をいう姿勢は、人にもよるだろうけど私には一寸シンドイ。それに男性でありながら、自分が心底女の味方であると信じていられる人というのも不思議な気がする。ともあれ、まえがきによれば村上氏は目下癌との闘病中のよし、何とか病気を克服して中巻、下巻とも完成して頂きたいと、これは嘘いつわりのない愛読者の気持でお見舞を申し上げる。(荻野美穂子)

フェミニスト度 ☆☆

御礼とお願い

上記の書評欄へ投稿をお待ちしています。

女性の目で見直した鋭い批評や、視点を変えたユニークなものをお寄せください。

400字詰原稿用紙に約1枚半、600字前後です。

住所とお名前、電話番号も原稿用紙にお書き添えください。掲載させて頂いた方には薄々謝、進呈致します。

「あなたの情報・私の情報」。あなたの主張、伝えたいこと、知って欲しい本、御意見等に御利用ください。400字以内。住所とお名前、電話番号を原稿用紙にお忘れなく。但しこの欄は申しわけありませんが薄々謝も差し上げられませんので念のため。上記両方とも次号の締切は1983年1月末日。

宛先は 602 京都市上京区下立売通西洞院西入
松香堂書店「ウィメンズ ブックス係」です。

◎本年最後の号をお届け致します。「友の会」の皆様
の暖いご支援を頂きまして、おかげでこの一年を無
事にのりきることができました。本当に有難うござ
いました。来年はより一層この「ウィメンズブッ
クス」を充実させて、情報の提供をしたいと思いま
す。どうか皆様からも、どんなことでもご意見をお
聞かせ下さい。参考にさせて頂きます。

◎本を探す手間や交通費より送料の方がはるかに安い
のです。また本に関するお問合せには何でも応じて
います。ウィメンズブックスストアをどんどんご利用
下さい。

◎早いもので一年経ちました。来年の年会費1,500円
を同封の振替用紙でどうかお振込み下さいませよう
よろしくお願い致します。(中西)

—お詫と訂正—

0646「講座おんな5—おんなと仕事」 980円、

4604「老化とはなにか」 1,300円、

4625「老人社会福祉」 580円

の以上3冊は品切となり、再版見込なしです。